

# 学 校 保 健

THE SCHOOL HEALTH No.221

(財) 日本学校保健会

生涯を通じて、心豊かにたくましく  
生きる力をはぐくむ健康教育の推進  
— 健康教育 21世紀への挑戦 —

第48回全国学校保健研究大会の主題  
(平成10年度・宮城県)



## 薬物乱用防止教育の視点

(財)日本学校保健会 副会長 澤 村 良 二

最近では覚醒剤事犯などの低年齢化という事態が起こり、薬物乱用防止教育が重要な課題として、学校での実践が真剣に求められています。薬物乱用防止教育については、保健教育・健康教育、社会教育、倫理教育、防犯教育などいろいろの面がありますが、これらの教育的側面にはそれぞれの意義があつて、互いに競合する場面もあるとはいえ、その立場を尊重し合い、かつ補い合わなければならない関係にもあります。

一方、学校における健康教育のあり方として、児童生徒がその生涯を通じて健康な生活を維持できる能力を養うという方針があります。

健康のとらえ方にもいろいろの視点があり、要素として身体的なものと心の問題の双方がともに大切です。また、個人の健康という立場もあれば、社会という広がりの中で考える健康もありますし、地球規模や人類の規模で考えなければならない健康の問題もあります。さらには教育効果を高めるための優れた実践プログラムを創り出していかなければなりません。

“ダメ！絶対”というキャッチフレーズは、簡潔で有無を言わさぬ強さがありますので、これが通用して薬物乱用問題が解決すれば結構なことです。しかしこれだけでは済まない状況があつて問題が残ります。

薬剤師という立場からの視点を一つ述べさせていただくと、「薬の正しい使い方」を理解していただければ、麻薬や覚醒剤、シンナーといったものに手をだす気遣いはないように思います。

世の中には、生半可な知識を振り回して薬の正しい使い方を乱している人を見受けます。学校での健康教育にも色々な側面があると思いますが、「正しい薬の使い方」は、国民の健康と利益を守るための重要な題材であり、社会的な薬物問題解消の原点でもあると考えます。

### 目 次

薬物乱用防止教育の視点	… 1
児童生徒の健康について	… 2
平成8年度児童生徒健康状態 サーベイランスについて	… 3
北から南から 長崎県・仙台市	… 5
第48回全国学校保健研究大会の 開催に向けて	… 6
本会名誉会長村瀬敏郎先生を 偲んで	… 7

会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。

## 児童生徒の健康について

児童生徒の健康状態サーベイランス委員会 委員長 平 山 宗 宏

最近、健康についての考え方が変わるべきだとする意見が強く打ち出されるようになってきた。もちろんこれは新しい意見というよりも、健康をより前向きに取り組もうという時代の要請にもとづくものである。健康の定義としては、50年以上前に世界保健機関(WHO)が「健康とは病気や虚弱がないというだけでなく、身体的にも精神的にもまた社会環境的にも全く良好な状態」と定義しており、これは健康を広く理解している点で今日でも申し分はない。加えて、既に障害や慢性的な疾患を持ってしまっている子どもにとっての健康を、「その持てる能力を十分に発揮できるようにすること」「十分な QOL を保障すること」「自己実現を可能にすること」と受け止めれば、すべての子どもたちにとっての健康が理解できよう。

前向きの健康とは、例えば学校における健康診断を単に病気の早期発見・早期治療の場とするのではなく、心身の健康を子どもたちに理解させる健康教育の場と考えるなど、心の健康や育児環境の向上までを考え、実行する積極的な健康づくりを意味している。ヘルスプロモーション、あるいはポジティブヘルスとも言われている。

最近の教育現場での課題の対応を考えるについても、子どもの健康を身体健康、心の健康、社会的健康の三つの健康としてとらえる重要性が痛感される。心と社会性を身につける健康づくりについては、中央教育審議会の「幼児期からの心の健康を考える小委員会」が近く中間報告を提出し、家庭と地域社会の育児機能の向上などを訴えると報じられた。従来の中教審報告の枠を踏み越える形なのかも知れないが、家庭のあり方を問い直す内容も盛り込み、家族のふれ合い、話し合いを通じたしつけや自然の中での伸びやかな遊びの重要性なども提言される見通しである。

厚生省でも、市町村への補助事業の一つとして、子どもの心の健康を推進する事業を平成9年度から開始している。これは地域社会みんなの目を子どもに向け、地域ぐるみで子どもを育てていく活動に取り組んでいる市町村に手を挙げて貰い、補助金を出

すと共にその模範的な活動を全国にも紹介して推進しようという主旨である。

このような心の健康教育を進めるに当たっては、その基礎資料として子どもたちの日常の生活の現状を知ることがきわめて重要である。文部省の指導による日本学校保健会の「児童生徒の健康サーベイランス」に関する委員会の縦断的調査は、現在の子どもたちのライフスタイルの実態を知るための事業であるので、その知見は今後の児童生徒の生活指導、心の健康教育の基礎となるものと期待される。子どもたちの自由な野外での遊びの減少、テレビゲームやパソコンなど機械を相手にした遊びの増加、自分の生活のゆとりのない中での夜型化など、健康な心や社会性の発達の上で気になる実態が示されている。

ひと頃、小児成人病が増えているという言葉が使われたことがあった。これは小児成人病という病気があるわけではなく、子どものうちから成人病といわれる動脈硬化に起因する病気などの予防に心がけよう、ということである。つまりライフスタイル、とくに食生活上のよい生活習慣づけを呼びかけるのが目的であって、その意味では厚生省が成人病という言葉をやめ、生活習慣病と言うようになったのはよいことだった。

「児童生徒の健康サーベイランス」調査では、学校医や市町村の勧めで血圧測定や血清コレステロール検査を行っていた学校からその成績を教えて頂いて分析を行ったが、ただちにわが国の子どもたちの健康状態が心配という状況ではなかった。コレステロールは発育盛りの子どもにとっては必要な物質でもあり、小学校3、4年生頃には血清コレステロール値が高くその後低下するが、女子では高校生頃再び高くなる傾向が認められている。

今回本紙上で紹介申し上げるこのサーベイランス調査成績は今後とも長い目で追跡しながら子どもたちの将来にわたる健康を守るための基礎資料である。

学校保健関係者各位がこの調査成績を基に、児童生徒の心身の健康を考え、対応して頂くことを切にお願い申し上げます。



# 平成8年度児童生徒健康状態サーベイランスについて

児童生徒の健康状態サーベイランス委員会 大 澤 清 二

一 児童生徒における健康異常の徴候として、視力低下、高血圧、高脂血、貧血、起立性調節障害などが指摘され、その誘因の一つとして肥満や体力の低下などの身体的要因とその生活背景としての運動不足、偏食、欠食、寝不足、過剰なテレビゲームのしすぎや夜更かし等のライフスタイル要因が指摘されている。そして関係者のあいだには、このようなトレンドが少しずつ憎悪しているのではないかとの危惧が持たれているようである。

果たして実態はどのようなのであろうか。児童生徒健康状態サーベイランス調査（調査と略す）はこうしたニーズに答えるべく、長期的な見通しのもとに科学的なデータによって現代っ子の健康と生活の状態を記述することを目的として平成4年度より継続されている。平成8年度調査はライフスタイル、生活習慣病のリスクファクター、アレルギー等に関するアンケートが全国の児童生徒約6,640名を対象として行われた。

ここでライフスタイルとは児童生徒の生活における運動、栄養、休養を生活時間等の側面からリスク

ファクターは肥満度(BMI)、血圧、総コレステロール、HDLコレステロールを、アレルギーについては既往歴などについて取り上げている。

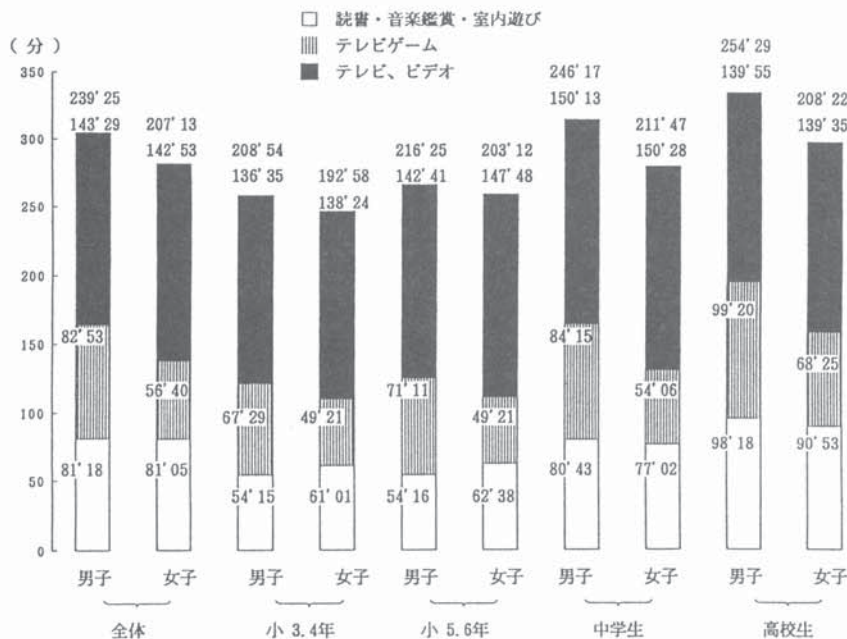
**生活時間について：**就寝時刻をNHKが生活時間調査を37年に行った時から平成8年度の調査までを比較してみると、中学生で約2時間遅くなっている。登校時刻がそれに伴って遅くなるわけではないので調査では児童生徒の70%以上が寝不足であり、すっきりと覚醒した率はわずかに17%程度であって、朝飯の欠食、朝の定期的な排便なし、午前中の体調不良、頭痛、倦怠感、腹痛等の誘因となっている。

テレビ、ビデオ等に多くの時間が割かれている事が図1に見られる。テレビゲームについては一時のブームは去ったようであるが、中学生84分、高校生でも99分となっており、児童生徒の生活の一部として定着した感がある。

**運動について：**昭和56年の本会の調査と比較すると学校で行われている運動部やクラブ活動、地域のスポーツクラブなどへの参加はむしろ増加の傾向にあるといつてよいが、反対に児童生徒達が自ら行う遊

びや運動、スポーツ活動は減少している。言い方を替えると管理されたスポーツが自由な運動やスポーツ活動に置き換わっているということである。一方、運動量という観点からみると、男子は軽、中、重いずれ程度の運動も合計約14時間30分で、それなりに行っているが、女子の運動量は全体で約3時間も少なく、とくに高校生女子では運動不足きみであるといえよう。  
**食事について：**ライフスタイルの観点からすると、中学生で朝飯の欠食が約10%と高く（平成6年度）深夜の夜食は男子中学生の15%、同高校生の17%で習慣的に取られている。また帰宅後、2度食事を

図1 調査前日、学校から帰宅後、室内で過ごした時間



とる者が小学生でも14%程度、中学生では約30%、高校生で25%程度みられることが朝食の欠食傾向と関連していよう。偏食や過食、孤食などの食生活スタイルが児童生徒のなかに習慣化しつつあるようである。

**リスクファクターについて：**肥満度(BMI)で要注意とされる児童生徒は男子8.4%、女子8.9%、高血圧(140mmHg以上)は男子3.3%、女子0.6%、総コレステロール値が200mg/dl以上は男子10.5%、女子16.7%、HDLコレステロールは40mg/dl以下が男子3.7%、女子2.3%となっており、約15%以上の児童生徒がいわゆる生活習慣病を意識した生活指導を必要としている。

表1 医師からアレルギーと診断されたことの有無

	アレルギーと現在、指摘されている	アレルギーと過去に指摘された	現在も過去もアレルギーなし
男 小学3/4年	18 %	30 %	53 %
小学5/6年	17 %	32 %	51 %
中学生	10 %	34 %	56 %
高校生	11 %	32 %	57 %
合計	13 %	33 %	55 %
女 小学3/4年	15 %	30 %	55 %
小学5/6年	13 %	28 %	59 %
中学生	11 %	25 %	64 %
高校生	16 %	31 %	53 %
合計	14 %	29 %	57 %
男女 小学3/4年	16 %	30 %	54 %
小学5/6年	15 %	30 %	55 %
中学生	11 %	30 %	60 %
高校生	14 %	31 %	55 %
総合計	13 %	31 %	56 %

現在とは1年以内、過去とは1年以上前とした。

**アレルギー症状について：**調査ではアンケートによってアレルギーの有無を数えているが、この既往歴をもつ者(表1)は全学年を通じて31%に及んでいる。過去にアレルギー性の鼻炎(17~22%)、結膜炎(8~9%)、アトピー性皮膚炎(15~24%)、気管支喘息(5~8%)といわれた児童生徒が現在もなおそれらの症状に悩まされている。またこれらの疾患においては鼻、目、皮膚、呼吸器などの症状が合併しやすく、アレルギー症状が複雑に現れていた。

調査は平成4、5、6、8年と回を追って順調に推移してきた。

当初は統計数の真実性や安定性について未知の項目もあったが、現在ではその点に関する不安は払拭されて日本人児童生徒の生活と健康を評価し、論ずるうえでは、最も信頼できる統計資料になりつつある。学校保健に関係する方々がこれらの資料を活用されるようお願いしたい。

### お詫びと訂正

学校保健 No.220 の秋の叙勲者のお名前で、古谷肇様の姓が古屋になっており大変失礼をいたしました。

謹んでお詫びし訂正させていただきます。

なお、文部大臣表彰の回数を45から47に訂正願います。

## 虎の門(44)

### 偏食と脚気

「高校生の長期合宿の際に、心臓肥大、手足のしびれ、動悸、息切れによる歩行困難等の症状を訴える者が出る」と言う話を聞いたことがある。それは偏食からくる「脚気」とのことである。食生活が向上した今日でも、児童生徒の間食はスナック菓子、清涼飲料水、即席めん等の澱粉と糖が大きな割合を占めて、それを燃焼するのに

必要なビタミンB<sub>1</sub>が不足しているために脚気が起こるのである。

日本学校保健会「児童生徒の健康状態サーベイランス事業報告書」を見ると、児童生徒のおよそ4割が疲れ、便秘を、3割が食欲不振、また、1割弱が動悸・息切れを感じるということである。

児童生徒の食生活は、幼児期からの連続性をもっているが、病も

また連続性をもっている。ある日突然、脚気の症状が出現するものではない。数多く出回っている菓子類、清涼飲料水等について、もっと関心をもち、上手な間食の仕方を考えることが、全て健康につながることを認識しなければならない。

(壺井 忠雄委員)



## 北から南から

## 長崎県学校保健会の活動

## 長崎県学校保健会事務局

本県学校保健会は、学校保健の研究並びに普及発展を図り、学校保健関係者の資質の向上並びに児童生徒の健康の保持増進に寄与することを目的として昭和27年12月に結成された。

本会の長年の歴史を踏まえながら、時代の流れとともに様々な健康問題が生じる中、児童生徒が健康問題について自ら課題を見つけ、判断し、適切な行動ができる「健康に生きる力」を持ち、一方それを支え導く学校保健関係者の一層の指導力の向上を願い活動している。以下、本会の事業の中から2つを紹介したい。

## 1. 学校保健・安全研究協議大会

15郡市の学校保健会のうち、現在は8市を開催地として年1回1日日程で開催している。平成9年度は「健康で活力あるライフスタイルを自ら進んで確立する児童生徒の育成を目指して」を主題に掲げた。

大会内容は、表彰、特別講演、分科会（学校保健経営、健康教育、心の健康、学校歯科保健、学校環境衛生）とし、特に分科会の心の健康部会では多くの参加者を得、事例発表を基に増加傾向にある児童生徒の様々な悩みや不安に対する対応のあり方等について活発な討議がなされた。

## 2. 学校保健推進委員会

11の専門部会（心臓、腎臓、眼科、耳鼻科、情緒障害、口腔衛生、環境衛生、保健室経営、性と健康、心検コンピュータ、せき柱側わん症）を設け、その時代に対処すべく内容を取り上げ、冊子を作成している。現在、保健室経営部会を開催し「養護教諭執務の手引き」の作成に着手している。作成委員は、医師、歯科医師、薬剤師、教育事務所、市教育委員会、小学校長から各1名、養護教諭12名とし、主な内容は、関係法規・健康教育の推進・執務の内容と実際・保健室経営等で、養護教諭はもとより学校における健康教育に生かせる輝く一冊となるよう編集中心である。

急激な社会の変化とともに児童生徒を取りまく環境と同じくして、子どもたちの心身も日々変化している。健康という不易を一層心して多くの関係者の御協力をいただきながら、学校保健会の各事業を更に充実させることが21世紀を豊かに力づくよく生きていく児童生徒の育成の一助となることを確信している。

## 仙台市学校保健会の活動

## 仙台市学校保健会事務局

仙台市学校保健会は、仙台市が指定都市に移行した平成元年に発足し、事務局を会長所属の機関に置いている。

本会は、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、校長、保健主事、養護教諭の6部会を中心に、児童生徒の健康管理及び健康教育の向上、及び明るくすこやかな、心身ともにたくましい人間の育成を目的として次の活動を行なっている。

## 《本年度の主な事業》

## 1. 各種大会、研修会の開催

## (1) 仙台市学校保健研究大会

仙台市教育委員会との共催で開催、仙台市内の学校保健関係者が集い、全体講演と報告・研究協議を実施、本年で46回を数える。また、6部会より学校保健の推進に顕著な功労のあった関係者を推薦いただき功労者として表彰を行なった。

## (2) 平成9年度第40回学校保健主事研修会宮城大会の開催。

## (3) 学校保健研修会

仙台市医師会、仙台歯科医師会の協力により学校保健担当者を対象に内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科の講演会を開催し研修を深めた。

## (4) 平成10年度第48回全国学校保健研究大会開催の諸準備。

## 2. 感染症アンケート調査

仙台市内小学校（中心部、周辺部）7校を抽出し、新入生児童の保護者を対象にアンケート調査を行い、感染症発症の動向を把握し、調査結果を各小学校に送付、保健指導の一助にしている。

## 3. 生活習慣病に関するアンケート調査

仙台市内小、中、高等学校8校を抽出し、1年3年、5年(小)の標準体重内の児童生徒800名を対象にアンケート調査を行い生活の実態を把握するとともに、肥満児童生徒との比較検討を行なった。

## 4. 保育所・幼稚園保健委員会

校医部会（仙台市医師会）に保育所・幼稚園保健委員会を設置し、わが国の社会環境の変化に伴い高齢化が進むなかで少子化時代を生み、少子化対策が重要な課題になっている現在、次代を担う就学前乳幼児の保健問題の取り組みを行っている。

## 5. ケーブルテレビによる市民への啓蒙

ケーブルテレビに出演し、児童生徒の健康管理全般についての啓蒙などを行った。



## 第48回全国学校保健研究大会の開催に向けて

宮城県学校保健会事務局長 横 山 義 正

### 1. すばらしかった鳥取大会

第47回全国学校保健研究大会が鳥取砂丘、湖山池等があり、豊かな自然に恵まれた鳥取県において、9月25日(木)・26日(金)の両日にわたって盛大に開催されました。

宮城県は次期開催県として、師 研也 県学校保健会会長、星 邦光 健康教育課長をはじめとする学校保健会役員、準備委員会役員等30名が、鳥取大会を視察させていただきました。

そして、すばらしい大会運営とともに鳥取県の皆様の暖かな人情にも触れることができました。

### 2. 宮城大会について

47都道府県持ち回りで開催されてきたこの大会も、鳥取県を最後に一巡目が終わりました。

二巡目の最初として次のような大会を検討いたしました。

#### (1) 大会のスリム化

第一日目の全体会を午後から始め、第二日目の課題別研究協議会を午前中で終了する、等ゆとりのある日程とする。

#### (2) 全体講演をシンポジウムに

講演からシンポジウムに変えて、多様な角度から意見が集約できるようにする。

テーマ：「生きる力」をはぐくむ健康教育の在り方

#### (3) 分科会は全てシンポジウム形式で

全分科会をシンポジウムの進めることで時間の短縮と参加者の協議への参加や情報交換等も促進できるようにする。

#### (4) 第12分科会に「薬物乱用防止教育」を設定

今日的な緊急の課題として取り上げ、情報交換を含め研究協議をする。

このような特徴のある大会を開催したいと考えております。

「広瀬川のせせらぎが聞こえる、青葉繁れる仙台」へ、ぜひお越しいただくよう御案内いたします。

### 3. 大会概要

(1) 日 時 平成10年11月5日(木)・6日(金)

(2) 場 所 仙台サンプラザ (全体会)

仙台市内12会場 (課題別研究協議会)

(3) 主 題 生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進  
－健康教育 21世紀への挑戦－

### 4. 準備に御協力を

文部省、財団法人日本学校保健会、日本体育・学校健康センター等と協議しながら準備を進めております。

特に、文部大臣表彰、課題別研究協議会発表等についてよろしく御協力をお願いします。

子どもの生涯にわたる健康を、幅広い視野で育む

# 養護教諭 知っておきたい 保健と教育のキーワード

大好評

編 集 ● 養護教諭実務研究会

◆ B5判・加除式・全1巻・定価10,290円(本体9,800円)(〒実費)

編集代表 ● 吉田瑩一郎(日本体育大学教授) / 三木とみ子(文部省体育局学校健康教育課教科調査官)

保健と教育に関する領域から、養護教諭として知っておきたい事項を使いやすさを考えて分類、実務的な見出し項目に沿って解説しました。知りたい事項がすぐ引ける養護教諭のための事典です。



第一法規

〒107-8560 東京都港区南青山2-11-17  
☎(03)3404-2251 / FAX(03)3404-2269





## 本会名誉会長 村瀬敏郎先生を偲んで

### 村瀬敏郎先生ご略歴

昭和21年 慶応義塾大  
学医学部卒業  
昭和50年 東京都渋谷  
区医師会会長  
昭和58年 東京都医師  
会理事

昭和58年 渋谷区医師会予防接種センター所長  
昭和59年 日本医師会常任理事  
昭和63年 日本学校保健会会長  
平成元年 日本医師会副会長  
平成4年 日本医師会会長  
平成8年 勲一等瑞宝章を授与される  
平成9年 日本学校保健会名誉会長  
平成9年12月14日 ご逝去・従三位に叙される

## 村瀬敏郎先生を偲ぶ

会 長 矢 野 亨

村瀬敏郎先生は、東俊郎先生の後を受けられて、昭和63年に本会の会長に就任され、以来9年間、折しも学校保健に関する新しい諸課題が次々と提起される時代に、誤りない対応を指示されると同時に本会の充実発展に多大なご尽力をいただきました。

本会会長としての先生の特筆すべき点は「教育現場を知悉した会長」であったことでありましょう。長い学校医としての実体験から、学校保健には格別強い関心を抱かれ、次々と子ども達のための諸方策を実行されていられました。子ども達への熱い思いは、遠くネパールの地に、学校保健、母子保健の拠点となるプライマリーヘルスセンターを建設されたことにもうかがえます。

また、先生は日本医師会の常任理事、副会長、会長を歴任され、そのご多忙のさ中にも拘らず本会の会長としても素晴らしい指導力を発揮されました。

私は、昭和61年、日本医師会の常任理事をお引き受けした際、先生が担当されていた学校保健、公衆衛生部門をそのまま引き継ぐこととなり、また、昭和63年からは当会の副会長もお受けしましたので、常に先生とご一緒する日常となりました。この間、先生からいただいた数々の教えは、今、私の血であり肉となっております。先生のお人柄は、小児科専門医としての優しさ、そして著書「シネマのカルテ」に見られる文学的繊細に溢れておられました。

今、静かに先生を偲ぶと、あの温顔で「頑張んなさいよ」という声が聞こえます。先生、どうぞこれからも私達をお見守り下さい。 合掌

## 弔 電

社団法人日本医師会前会長村瀬敏郎殿のご逝去の報に接し、謹んで哀悼の誠を捧げます。

村瀬先生には、開業医としてのご活躍に加え日本医師会の役員として14年の長きに亘って我が国の医療の確保と公衆衛生の充実にご尽瘁賜り、国民の健康を守り続けて下さいました。また、学校保健の推進に熱意をもって当たられ、こどもの健康増進に多くのご貢献を頂きました。更に、四年間の会長在任中には、ネパール等発展途上国の保健衛生と医療の向上に寄与されるなど、国際活動にも大きな実績を示されました。

先生のご功績を顧みるときその偉大さに言葉を尽くせません。ここに、深甚なる敬意を表するものがあります。

先生は映画をこよなく愛し、関係の著書もいくつが残されている文化人でもありました。その温顔とお人柄を偲ぶとき、哀惜の念一入のものがああります。

心からご冥福をお祈り申し上げます。

内閣総理大臣

橋 本 龍太郎

## 故村瀬敏郎先生の思い出から

内 藤 昭 三

ここに日本学校保健会前会長村瀬敏郎先生の来し方を語るのに瞭然たる一文がある。橋本龍太郎内閣総理大臣から夫人宛ての弔電がそれである。先生のライフワークの多くがそこに集約されているのではないかと思ひ、夫人のご許可を得、ここに転載することにした。読めばいかなる分野に於いても、すぐれたアイデアと深い洞察に基づく行動力をもって、随所に活躍されたことが記され、あらためて感銘を受けたのである。私は学校保健に携わってから、先生の片鱗にふれることができたが、接するに師と言うにふさわしい方であった。短い期間ではあったが、多くの示唆とご指導を戴いたことを感謝している。印象に残るのは、病を得た平成8年11月、代々木の国立オリンピック青少年センターで行われた東京都学校保健会主催の校長、教頭を対象にした講演会で話された「学校保健委員会のあり方」は先生がいまの学校保健が到達するまでの道程とこれからを語る一コマであった。

(常務理事・編集委員長)

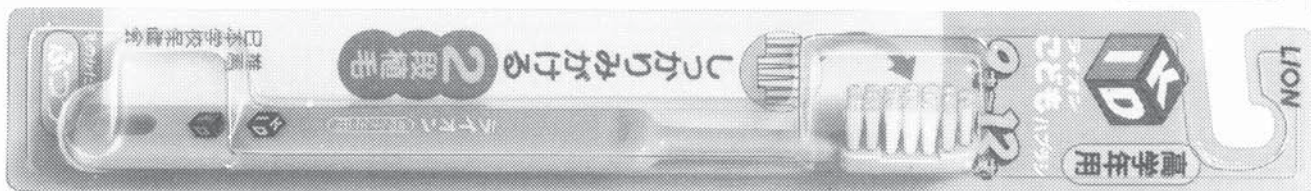


LION

# しっかりみがける2段植毛採用

●低学年用(6才~9才) ●高学年用(9才~12才)

ライオン  
こども  
ハブラシ



## 学童の集団検尿に、 エームス尿検査試験紙。

エームス尿検査試験紙

### ネフロスティックス-L

体外診断用医薬品

バイエル・三共株式会社

東京都中央区築地6丁目19番20号

販売元:

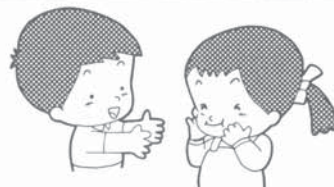
### 三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3丁目5番1号 電話 03(5255-7111)

JU1694-S

## 育ちぎかりのひと粒!

目・歯・骨を大切に……



ゼリー状ドロップ剤

# カワイイ肝油ドロップ



河合製薬株式会社

東京都中野区中野6-3-5

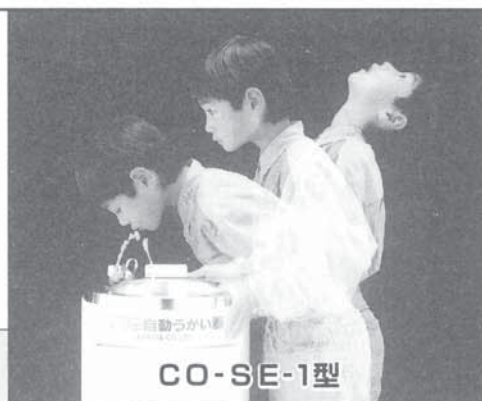
多人数のうがい励行に

## 300自動うがい器

お問い合わせは

サラヤ株式会社 06(797)2525

東京サラヤ株式会社 03(3472)1521



CO-SE-1型

プール用殺菌・消毒剤

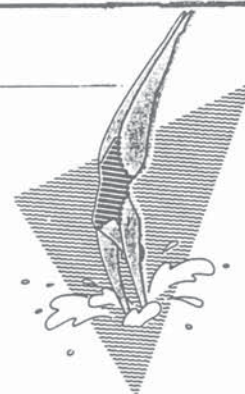
# ネオクロール



## 四国化成工業株式会社

東京本社 大阪支社 福岡営業所 名古屋営業所

03(5640)4113 06(282)1441 092(431)4111 052(705)0111



発行 財団法人日本学校保健会 矢野

亨

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-2-20 第19森ビル

電話 03(3501)3785・0968

頒価 1部100円(送料共)